



★施設の新型コロナウイルス感染対策を紹介します★

1 当施設の入口での感染対策

当施設では、玄関入り口に非接触型の体温センサーを設置し、来訪者の検温を行っております。また、消毒液も足踏み式のスタンドを設置して、容器のポンプ部からの感染を予防しています。

職員通用口にも同様に消毒液は足踏み式を設置、非接触型体温センサーは顔認証にも対応し、マスク着用のままで検温が可能です。全スタッフが顔写真を登録し、出勤時に検温と顔認証を行う事になっております。(37.0℃以上の場合は警告音と共に、入室室禁止と画面表示されます)



2 相談業務における感染対策

当施設では全面会禁禁止ですが、相談業務には密にならないように各テーブルに距離を取りテーブル上にはアクリル板を設置しています。アクリル板には対面にて書類等の受け渡しができるように、隙間がある物も使用しています。

3 施設内の換気およびソーシャルディスタンスについて

施設内の換気では、定期的に館内放送を流して換気を行い、感染予防を行っています。

職員食堂では、各テーブルの位置に距離を取って、密にならないよう対策しています。また、ユニットでもテーブルにアクリル板を設置し、感染対策を行っています。



4 新型コロナウイルス完成対策についての研修

施設内の研修として、看護師を主体として研修を行いました。内容は新型コロナウイルスについての感染対策や、手洗い方法を学んで手指衛生の大切さを学びました。また、マスク着用方法やガウンテクニックでは実践を交えて学びました。



令和3年新春のご挨拶

新春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。凛とした空気の中、霊峰富士が美しいシルエットを描いています。昨年は、新型コロナウイルスの感染によって、皆様方に多大なご心配やご迷惑をおかけしたにも関わらず、施設側の意向をご理解し、励まし・ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

コロナウイルス感染に対する『恒春の丘の奮闘ぶり』をお伝えしようと思います。発生と同時に感染拡大防止の徹底を看護課が中心となって整備し、感染症の三大要素の①感染経路の遮断②ご利用者・職員の病気に対する抵抗力を高める。の2点に注力して予防対策に努め、職員は、手洗い・マスクの徹底等健康習慣を実践しています。又、面会制限に対しては、ご家族様に会えないご利用者の気持ちに寄り添い、いち早くオンライン面会を取り入れ実践しています。密を避けながらのカラオケや花火大会等“楽しみ”に工夫を凝らして企画し、ご家族様に写真を添えてお伝えしています。

9月、当施設のショートステイご利用者に抗原検査陽性者が発生し、緊張状態となりました。すぐに保健所、横浜市のご指導を受け、該当者のPCR検査、濃厚接触者であるショートステイの全職員を含み2週間の自宅待機としました。ご利用者及びご家族様への支援等急を要する課題が山積しました。一夜の内に対策を立て、介護課長を中心に主任・リーダーで急遽ショートユニットの介護体制を整備し、リーダー不在の各ユニットは他部門も協力してご利用者の安全な生活を支えました。PCR検査2日目に全員陰性の知らせを受けた時には安堵し、方々でエアタッチが見られました。防護服にフェースシールドは残暑厳しい折過酷でしたが、昼夜食事をとる時間も惜しんで励みました。法人内から人材の協力も心強かったです。2週間の経過観察期間を乗り越え、自宅待機者が職場復帰した時にはお互いを労い笑顔があふれていました。そして穏やかなご利用者の日常が戻ってきました。これは大きな出来事でしたが、全員が一つになって取り組み感染が拡大しなかった事は大きな成果でした。

一日も早い収束を願い、新年も絆を大切に丸となって歩んで参りますのでご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホーム 恒春の丘 施設長 日森 昭子



特別養護老人ホーム 恒春の丘
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町3048-5
TEL : 045-825-8011(代表)
FAX : 045-825-8320

【発行】社会福祉法人 親善福祉協会
特別養護老人ホーム 恒春の丘
丘だより (年2回発行)
2021年1月15日発行/第30号



<https://www.shinzen-fukushi.jp/kousyunooka>

恒春の丘のステキな景色

名前の通り丘の上に立ち、緑に囲まれた当施設では自然を感じることができます。『晴れた冬の日には職員玄関の前から富士山が見えます。富士山を見て「よし今日も頑張るぞ!」という気持ちになります。』

